

しなきことに世人このごろのことぐさに恵たり、さらぬ事だにきくにくきものいひはましてことわりなり、かくもてなさせ給ふも人の御ほど御位こそわざくものし給ひしか侍従宰相はこの齋院の御せうと小一條院の御子、堀河の右大臣の御ひめぎみの御腹なぞてかわるからんとおほしめすなるべし。

〔中右記〕寛治五年十月十九日、殿下○藤原初令參陽明門院○後三條院○母后給、是依女御入内之事也。廿五日庚辰、有三品篤子内親王入内之事。是三條院第四女、母贈太皇后藤茂子、太上秉燭之程、公卿殿上人參會之後、先有御使右近少將藤顯實朝臣給御書之、則參入女院御所鴨院、先於中門申事由右中辨事由也。則召御前加茵、勅使參進獻御書於簾中、次有盃酌三獻、初獻、權左中辨源基綱朝臣、二獻、新中納言部大輔藤道輔、兵三獻新大納言家忠、瓶子散位源有家、事了自簾中推出祿女裝束、一襲無御返事、勅使二拜、則歸參内申時、ハ不拜云々及亥刻寄御車、糸毛女房車十輛童女二人合廿八人、前駕殿上人皆參、諸大夫廿人、乘御車之間、有反閉其路出自北門、經室町二條大路至堀川院北門、皇居御堀川院也、件門二條而東小門也、暫留御車、次藏人左兵衛尉藤永實著青色、仰轎車宣旨、先小舍入著衣冠、指燭出門前之後、仰云吉上二聲、上兵衛陣、吉稱唯之後、三品内親王參給牛車令入歟、歸入之後、移御輦車、寄東對代廊南底東妻、其後公卿殿上人、有饗饌之事、門廊、女御御所用此東對也、盃酌一兩巡之後、各々退出。

今日公卿殿下、左大臣、右大臣、内大臣、民部卿、源大納言、中宮大夫、准新大納言、中納言、宗治之公卿也、今夜女房御使掌侍源盛子源頼綱朝臣姬也、有祿女裝束、御衾役殿下北政所、凡入内之義、一事以上關白殿令沙汰給也、今夜女御御裝束、裏濃蘇芳御衣五、濃御單、同御袴、同打衣上著、梅花五重上著、黃菊五重小打著、赤色五重唐衣、白羅御裳也。

廿六七日、三ヶ日間、於女御殿御方、有公卿殿上人饗饌之事、最初之夜以夜御殿、王寅角燈爐火付脂燭、以藏人永實、遣女御殿御方、如凡入禮、云々不滅三又主上入御之間召御草鞋、中宮大夫取之、以三位中將殿